



安全だより

神奈川県安全赤十字奉仕団

平成 29 年 3 月発行
第 112 号

◆平成28年度を振り返って

平成28年度も残り少なくなつてまいりました。振り返ってみると国際的には大きな政局の変革がありました。イギリスのEU離脱、アメリカ大統領交代など、今後の更なる変革が起こることを予想させるような状況が伺えます。また、最近では北朝鮮が行ったのではないかと囁かれている暗殺事件も起こっています。

一方、国内を見ると熊本地震、各地の台風被害、糸魚川火災など、ここ数年大きな災害が続いている状況で、早期の復興を願うばかりです。

我が奉仕団に至っては、ご親族がお亡くなりになった団員がお二人おり、改めてお悔やみを申し上げます。

自主開催事業は例年同様、順調に進んでいます。今年度から活動回数が多い団員を対象に表彰を試行的に行うことになり、その対象者が数名いらっしゃることは今後の事業遂行の上でも心強く思います。

委員長 赤澤 精二

また、ホームページを立ち上げたものの運用について試行錯誤していましたが、来年度から講習受講申請をホームページで行えることになりました。

今後、団員からの意見等をいただき更にホームページが充実していくように努めていきたいと思えます。

数年前から本団の規約について、変更の必要性を考えていましたが、今年度、本格的に役員



団勉強会より

会で検討を進め、総会にその改正案を示すことが出来そうな状況になってきました。

総会前には団員皆さんにお配りし、団員それぞれで検討していただき、総会で議論をして作成できればと考えています。

団員ひとり一人の都合に合わせて社会のため、他人（ひと）のために、楽しく、有意義な活動ができるような奉仕団を目指して団員の皆さんと協力して、

今後も活動を続けたいと考えていますので、是非、団員のみならずから積極的な意見や要望を出していただくと、ともに、都合のつく範囲で積極的に参加していただきますようお願いいたします。



ガウンでポカポカ



作成中の講習会募集ページ

◆第20回

救急法競技会に参加して

選手の皆様

・何とか入賞出来ました。

応援いただいた団員の皆さん、練習にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

そして、チーム仲間の

、いろいろ助けていただいて、ありがとうございました。

それに引き換え、自分の情けなさ：土壇場の底力が無いことを痛感しました。勉強し直します。

・個々の種目でアナウンスがないので、半ば諦めておりましたが、総合で三位を受賞でき、とても嬉しく思っております。

指導いただきました役員の方々や団員の皆様に感謝しお礼を申し上げます。

次回は是非ともシニアで頑張りましょう。



気合を入れて！



総合3位！！

・1月22日に救急法競技会に選手で久しぶりに参加しました。
さん、さん、さんの協力とサポートメンバーの方のお蔭で総合成績で3位の表彰を経験することが出来ました。
練習会の日程も変更させて迷惑をかけてしまい申し訳ありませんでした。
チームメイト、サポートメンバーのみなさんありがとうございます。

・夢にも思わなかった賞をいただき、驚くばかりです。
チームメンバーの先輩方の力量、ご努力と、先輩方のご指導の賜物であり、感謝に堪えません。
ありがとうございます。

◆ミャンマー赤十字社救急法普及支援事業に参加して
(やる気満々の指導員と臨場感溢れる講習会風景)

まずはこの度の派遣に加えていただきありがとうございます。感謝、感謝！10月22日(土)日赤本社にてブリーフィングがあり、今回同行する3名の方と初めてお会いしました。本社の仙波課長、青森県支部の田澤係長、茨城県支部の磯部指導員(ポランティア)です。

もちろん小生がダントツの高齢者、皆さんから労わられることが多かった。
さて 目的の支援事業である講習会支援についてですが、場所はマグウエ管区、ヤンゴンから車で約9時間の場所にあり、高速道路以



ミャンマー赤十字前で記念撮影

外は道も狭く・舗装も出来ていない道路をガタガタと揺られて行きました。(車酔いはいなかった)
ミャンマーの講習会はケーススタディ方式で、課題に対してどう対処するかを考えながら、処置していくというやり方で進められていました。

今回は広いマグウエ管区から30名の赤十字救急法指導員が集められ、「レフレッシュヤーズ・トレーニング」と称して再教育(訓練)を1週間かけて実施するものでした。
マグウエ管区は農業(米は3毛作まで可能、胡麻の栽培が盛ん)を中心とした地域で所々に油田がありました。最近では交通事故が多発している。最近では死者も多く、救急車が少なく、来ない状況で、そして救急資材も乏しい中での救急活動が彼等の肩に負ぶさっているのです。



マグウエ管区は九州地方以上の面積



講習風景

講習会もケーススタディ方式というところもありすが、臨場感があり、緊張した顔で真剣に取り組んでいました。
講師陣も身体を張ってそれに応えるといった姿勢がうかがえ、50年前勤務先の工場が多発した災害を未然に防止するため、救急法を習得したことを思い出しました。
大きな「活」を入れられた感じがし、身が引き締まる思いがしました。私たち日赤からの派遣者は実技のアドバイザーとして講習会に参加しました。
講習会講師の要請に对应して日本でのやり方を披露したり、2015年版の「CPRとAED」の改訂箇所説明をしました。



講習後に受講生と記念写真



なごやかな昼食



みんなでロンジー

講習会全体を通して感じたことは
 ①三角巾は受講指導員全員がかなり使いこなしている。
 ②三角巾の新しい手技には興味を示した。手の平の包帯及び圧迫包帯。
 ③AEDにはさほど興味は示さなかった。(まだ普及していないからか)
 ④ロープワークには興味を示したが、ロープの準備がなく十分出来なかった。
 ⑤講師からは救急資材の不足を嘆いていた。(予算取りまで言及していた。)
 ⑥AEDの全国への普及はまだまだ先のことになるようだ。
 ⑦教本に分挽のことがあり、ミャンマーの救急法の広さに驚いた。

救急車が3台あるのに、AEDは載せていないことに驚いた。また医者が近くにいてることを想定しての注射器・薬剤等は載せられていた。
 高速道路は事故が多く、この施設は重要で、他に2カ所設置されている。
 今年の1月～10月に288名を病院へ搬送。内搬送中に1割が死亡した。また搬送しなかった死亡者(即死状態)は500人以上であったとのことです。
 最後に今回の講習会で講師・指導者から何度も救急資材の不足が訴えられました。



お礼の品

今回で第3次ミッションは終了するかもしれないと聞きましたが、ここに絞って行えばよいのではと思いました。

追記

昨年ミャンマーへ行かれた赤澤委員長よりミャンマー赤十字社に寄贈品(創傷模型セット)を届けて欲しいとの依頼があり、

お預かりして持参しました。

10月24日の表敬訪問の時に社長に直接お渡しいたしました。

セレモニーのようになり、小生代理でしたが少々いい気持ちさせいただきました。また11月2日の帰国の表敬訪問の時には、赤澤委員長宛のお礼の額に入った飾り物をお預かりいたしました。



2016年安全奉仕団活動



ほろよい奉仕団(団納会より)



ビシッと奉仕団(総会より)



背中語る！？



ドラゴンボートより



いい子に正座で



ダジャレ王？降臨



大人気



綺麗にできたかな！？



ガンバって



奉仕団研修みんな真剣



ガブッと！！開運♥



おめでとう！！



シワを伸ばして！！

◆「資材整備」作業を合理化

12月18・19・20日(日・月・火)に計画されておりました救護課の「資材整備」ですが19日に休暇が取れたので参加してきました。今回はほとんどの資材を7階に運び、マット上に人形などを広く並べて、部品は同じフロアの流しで洗浄しました。

スペースの確保と洗浄が流れ作業的に行え、又、地下でも同時に作業ができ、とても合理的に実施できました。エレベーターが狭く、乗り換えもありましたので移動は大変でした。

当日は10名の団員参加と厚木市赤十字奉仕団の皆さんの応援参加がありました。



人形いっぱい！！



幼児の人形がズラリ！！

彼女は、昨年の資材整備が大変だった話を私から聞いて、自主的に参加してくださり、とても助かりました、ありがとうございます。

3日間参加予定の方もいるので、最終日はできる限り早く終了できるようにとの思いで、ほとんど休憩も取らずに作業し17時過ぎに当日の作業を終了しました。洗浄した胸部カバーに胸板を取り付ける作業が大変で、指先がとても痛いです。

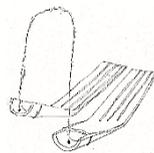
背部も、普段は使わない筋肉を酷使したのかズーンとした鈍痛に襲われてます。相変わらず、訓練人形の胸骨板損傷やネジなど部品の行方不明

がありました。指導員が適切に対処していれば防げる不具合も多いように思えますので、指導員の新任研修などで人形を主体として、構造を理解していただき肺の取り付けや取り外し時の点検と不具合対処法を学んでいただくように提案いたします。

又、新任以外の指導員の方も人形整備への参加をしていただけると良いと思います。

支部でも、各講習会単位の項目別年間補修部品代金を指導員にお知らせし、経費削減に協力していただいてはいかがでしょうか。

◆趣味のお話



私の趣味はスキーです。岩手の田舎育ちで子供のころは、自宅前の土手の斜面で滑って遊んでいました。

最初にスキーをした記憶は、竹スキーです。右の挿絵参照。竹スキーの作り方は、山に竹を採りに行き、節のところが先端となるように、適当な長に鋸でカットする。竹を二つに割る。



マスターズスキー大会風景

半分に分った竹に割れ目を数箇所いれてバーナーで炙って先端を曲げる。先端に錐で穴を開ける。舵取り用の紐を両スキーの先端の穴に取り付けて完成。

スキーといっても40センチ程度の長さで固定金具もなく長靴で板に乗り滑っている。最中に曲がりたいたい方向の紐を引いて曲がるといったものでいた。

重心の位置がずれると転んでしまうといった欠点がありました。本格的なスキーは小学校3年生になってからで、板の素材は桜の木でカンダハという締め具が着いたものでした。

ブーツは、合成革製で登山靴のようなものでした。身長プラス15センチの板で祖父が兄と私に買ってくれました。



知的障がい者スキー講習会の風景

雪が降ると自宅横の坂道でスキーを履き階段登行で雪を踏み固めてから滑っていました。銀色のワックスを板が銀色になるまで塗りこまないと階段登行の際に雪が着き重くなるので一生懸命塗ったものです。スキーそのものは、真っ直ぐ滑ってとまるところまでといったスタイルでした。スキースピードとスリルを味わう道具でした。就職して東京の方へ出てきて新潟のスキー場へ行ってきた際に、自分のスキーが下手なことに気づき、当時住んでいた藤沢から近い群馬県のスキー場通いが始まりました。夏の間コツコツ貯金をして毎週のようにスキー行



プロ？いいえ阿部です

曲がることを習いました。今では、競技スキーも始めて社内大会で3位の成績も取れるまでとなりました。やっとならびに滑れるようにならなりました。20年かかれました。最近、今までは楽しんで滑っていたスキーを、今までは活動として、競技スタッフとしてタイム計測などの大会運営や、障害者スキー指導などのボランティア活動を行ってあります。マスターズの大会は、5歳刻みでカテゴリーが分かれるように、80歳以上となると出場選手が少なく完走すれば、6位入賞となり賞状が貰えます。大人になるとなかなか賞状を貰う機会がなく、子供のように喜んでる様子が見えなく感じます。

企画部だより

神奈川赤十字フェスティバル開催 参加者募集

・日程 5月13、14日 ・場所 MARK ISみなとみらい ・時間 10:00~18:00

ご協力頂ける方は赤澤委員長にEメール又は電話でご連絡下さい。

集合時間等は参加者に詳細が分かり次第ご連絡致します、お時間の都合がつく方は是非ご参加ください。

赤澤委員長連絡先 Eメール red.sawa@jcom.home.ne.jp TEL 090-1548-6636



募金の受け渡しを行う
赤澤委員長と日赤木村課長

団納会時に皆様よりお預かりした、募金は委員長より木村課長にお渡ししました。ご協力ありがとうございました。

NHK海外たすけ あい募金協力報告

救急法救急員養成講習会 参加指導員募集

- ・日程 5月3~5日
- ・場所 日本赤十字社神奈川県支部 7F 講習室
- ・時間 09:30~17:30

ご協力頂ける方は企画部までご連絡下さい

企画部Eメールアドレス kikaku@anzenhou.jp

今回のイベントと講習会の申込み先が異なります。
お手数ですが、宜しくお願い致します。

お知らせ

毎月役員会の報告をメールで団員の方全員に送信しております。支部からの急な依頼は郵送では間に合わない事が多い為、29年度はメールでお知らせ致します。

確認の為、毎月、役員会のメールが届いていない方は赤澤までご連絡下さい。

安全赤十字奉仕団
委員長 赤澤精二

編集後記

28年度の安全だよりの発行が最後となりました。原稿等のご協力ありがとうございました。29年度も宜しくお願い致します。

発行責任者 赤澤精二
広報部長
広報部